

建築研究所ニュース



平成20年1月15日

「第13回国際地震工学研修グローバル地震観測コース」が開講 (地震学の技術を利用した核実験探知技術を研修)

独立行政法人建築研究所では、包括的核実験禁止条約への協力として、1995年から毎年、地震学を利用して核実験を探知するための技術の修得を目的とする「国際地震工学研修グローバル地震観測コース」を実施しております。

1995年の開講以来、現在までに66ヶ国から117名の研修生を受け入れ、日本の国際協力、技術援助の分野で高い評価を得てきております。

今回で13回目となる国際地震工学研修グローバル地震観測コースは、1月10日に開講し、3月7日までの約2ヶ月間、9ヶ国から12名の研修生を受け入れ、核実験探知に必要な知識と技術についての研修をJICA及び気象庁と協力して実施します。

(内容の問合せ先)

独立行政法人建築研究所
所 属 国際地震工学センター
管理室長
氏 名 櫻 澤 昌 二
電 話 029-879-0678(直通)
E-mail sakuraza@kenken.go.jp

☆ ご面倒ですが掲載の折には、その記録を留めるため、上記問い合わせ先へお知らせ下さい。

「第13回国際地震工学研修グローバル地震観測コース」が開講

(地震学の技術を利用した核実験探知技術を研修)

独立行政法人建築研究所では、開発途上国の地震災害低減のため、毎年各国の地震学、地震工学分野の研究者や技術者を JICA と協力して受け入れ、地震学及び地震工学に関する研修（国際地震工学研修）を実施しております。

さらに、外務省からの依頼を受け、地震学を利用して、核実験を検知するための技術の修得を目的とした「国際地震工学研修グローバル地震観測コース」を1995年から毎年実施しております。これは、包括的核実験禁止条約（CTBT）に協力する我が国の国際貢献の一つです。

1995年の開講以来、現在までに66ヶ国から117名の研修生を毎年受け入れ、日本の国際協力、技術援助の分野で高い評価を得てきております。

今回で13回目となる国際地震工学研修グローバル地震観測コースは、1月10日に開講し、3月7日までの約2ヶ月間、9ヶ国から12名の研修生を受け入れ、地震観測技術、地震データ解析技術、核実験と自然地震を区別する手法等、核実験探知に必要な知識と技術について研修をJICA及び気象庁と協力して実施します。

<研修生の出身国名（9ヶ国）>

- ・フィジー、インド、インドネシア、カザフスタン、パキスタン、スリランカ、シリア、トンガ、ベトナム

<来日した12名の研修生と山内理事長及び建研関係者>

